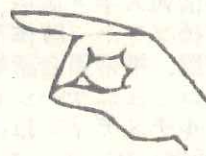


「つながる」を支えたい。

# パソコンボランティア 養成講座

(宮城県地域生活支援事業)



～主に、重度肢体不自由、視覚障がいがある方への、パソコン操作・学習支援～

障がい者福祉に理解と熱意があり、文章作成、Web検索、メール等日常的にパソコンを利活用するなど情報通信技術について一定の知識・技能がある方(18歳以上)が受講対象者です。

神経難病等による肢体不自由児・者、視覚障がい者等の障がいがある方々のパソコン機器等の使用に関する支援に必要な技術、知識、価値を学ぶ4日間の講座(他に、必要に応じて実地研修)を行うことにより、パソコンボランティアを養成します。

～平成28年度宮城県委託事業～



申込み、お問い合わせは下記まで  
受付開始 平成28年9月1日

一般財団法人 宮城県肢体不自由児協会  
Tel 022-293-2902 Fax 022-293-2905  
E-mail [msk@bc.wakwak.com](mailto:msk@bc.wakwak.com)

ホームページ <http://park10.wakwak.com/~msk/>

※月・祝等不在時は留守電対応となります。



この養成講座では、上肢障がいあるいは視覚障がいがあり書字が困難な方、言語障がいがあり言葉が話すことが困難な方、発達障がいのため読むことが困難な方にとっては、パソコン等ICT(情報通信機器)関連機器等は、「人と人」、「人と社会」をつなぐ可能性がある大切な手立て(コミュニケーションツール)の一つであると考えて、これら機器の利活用を必要とする障がいがある人の支援者を養成します。

期 間：平成28年9月29日、10月8・18日、11月9日(計4日間)

時間帯：9時30分から17時30分(予定：90分×16講義)

会 場：9/29.10/18.11/9は、大崎合同庁舎(大崎市古川旭四丁目8番1号)

10/8は、東北福祉大学(仙台市青葉区国見1)\*構内の駐車場は利用できません。

内 容：人権尊重・権利擁護など障がい者支援に関わる価値観の育成並びに以下の内容について座学あるいは演習形式で学びます。

・社会福祉及び障がい者福祉の基礎知識(\*大学等で履修済みの方は免除)

・パソコンボランティアの活動の実際

・障がい者の情報入手と活用、コミュニケーション支援について

・障がい者支援ソフト(肢体不自由者用、音声入力ソフト等視覚障がい者用)

・意思伝達装置、携帯用会話補助装置等関連機器の理解と演習

・自己覚知とコミュニケーション演習

・その他、マルチメディアDAISY等パソコンボランティア活動に必要な知識

受講対象者：パソコン通信、Web、ワープロソフト等を日常的に利活用するなど情報通信技術に一定の知識・技術を有する方(18歳以上)

定員数：10名(先着順。但し、上記受講対象条件を満たす方)

受講料：テキスト代(1,000円)

※講師所属団体：みやぎ障害者ITサポートセンター、仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター、多賀城市地域活動支援センター、楽暮プロジェクト、宮城県介護研修センター、宮城県北部保健福祉事務所、宮城県肢体不自由児協会等

※8割以上の受講と確認テストを修了された方には、宮城県知事の修了証が交付されます。

※参考 平成27年度パソコンボランティア活動概要

	性別	年代	障がい	地域	回数
1	女性	60代	ALS	亘理町	3
2	男性	40代	脳性マヒ	宮城野区	2
3	男性	30代	脳性マヒ	太白区	1
4	女性	10代	脳性マヒ	宮城野区	1
5	女性	60代	脳性マヒ	塩釜市	32
6	女性	50代	脳性マヒ	太白区	6

主たる活動内容：

- ・意思伝達装置の操作学習支援
- ・インターネットの利活用支援
- ・メール操作の学習支援
- ・文章作成、年賀状作成支援
- ・コミュニケーション支援など
- ・地図作成、他

	受講者	地域	回数
7	高次脳機能障がい者1名、聴覚障がい者3名、聴覚障がい者の支援者2名、精神障がいがある人2名、計8名が参加しているPC愛好会を支援(会場：とつておきの広場：柴田町北船岡)	柴田町	26

